

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 21 年 6 月 15 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | A 重油貫流ボイラーから都市ガス貫流ボイラーへの更新プロジェクト |
| 承認番号 | JCDM-PJ0003 |
| 排出削減事業者名 | 山梨罐詰株式会社 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 静岡ガス株式会社 株式会社三井住友銀行 |
| 事業実施場所 | 山梨罐詰株式会社本社事業所 (静岡県静岡市清水区興津中町 974 番地) |
| 事業の概要 | A 重油貫流ボイラー 5 台のうち、2 台を高効率の都市ガス貫流ボイラーへ更新する。 ボイラーの更新で、燃料使用量を削減し、CO ₂ 排出量を削減する。 また、都市ガスに燃料転換することにより CO ₂ 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2008 年度 234tCO ₂ 、2009 年度以降 434 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,970 tCO ₂) |
| 国内クレジット認証期間 | 開始日 2008 年 9 月 16 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 001 ボイラーの更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 9 月 16 日～2009 年 3 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|---|
| 排出削減量 | 245tCO ₂ (2008年9月16日～2009年3月31日) |
|-------|---|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|--|
| 排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること | <p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 承認排出削減事業計画に従いボイラーが導入されていること、および本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績の確認や現地における導入設備の稼働状況の視察により確認した。2) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者および共同実施者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。3) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | <p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、ボイラー毎の管理用ガスメーターの実測により実施されていることを確認した。2) エネルギー使用量の計測値の記録・保存が、記録責任者の管理の元、正確性を維持するために、通信データにより計測値が自動的に記録・保存されるシステムを利用していること、本データが正確に集計されていることを、事業者および共同実施者への質問、データ帳票の確認などにより確認した。 |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p> |
| 算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと | 算定期間は 2009 年 3 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。 |

5. 特記事項

無し。

以上